

防災行政無線施設デジタル波対応工事について

総務部

1 概要

防災行政無線施設のデジタル波対応工事については、平成29年度の実施設計時点で224局あった子局を176局にする計画で工事を進めてきたが、3期工事の中で実施した音達調査により、周囲騒音や建物の密集度等が影響し、廃局予定箇所の周辺において、十分な音達が確保できていないことが明らかになった。

そのため、設計内容を見直し、廃局予定だった子局をデジタル波対応局に更新することで対応する。

なお、当初設計では、3期工事でデジタル波対応工事を完了させる予定となっていたが、廃局と更新では必要となる経費が大きく異なり、令和2年度予算（令和3年度に繰越）では不足することから、追加工事（令和4年度予算）が必要となった。

2 工事の進捗状況等

No.	年度	概要	備考
1	H29年度	実施設計	7,484千円
2	H30年度	親局+子局44局整備	264,524千円
3	R元(R2)年度	子局87局整備	407,655千円
4	R2(R3)年度	子局65局整備+1局廃止	294,404千円
5	R4年度	子局31局整備(予定)	【見込み】145,000千円
計		子局227局	1,119,067千円

※工事費は、施工監理費を含む（千円未満切り上げ）。